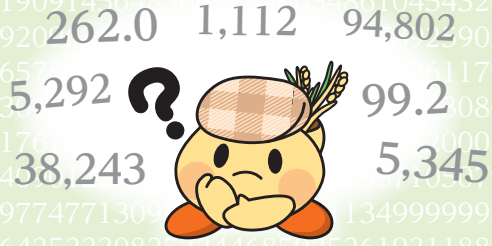


数字で振り返る岩見沢

私たちの日常生活は、気象など身近な自然現象のほか、通学や通勤時の交通、食料品などの買い物、ごみ処理、病院や学校、住まいの快適さなど、さまざまな社会現象と関わり合っています。こうしたさまざまな現象を正しく理解するため、岩見沢に関する統計数字を過去に遡って紹介していきます。

問合先　庶務課市史資料室（北村支所内）☎56-2001

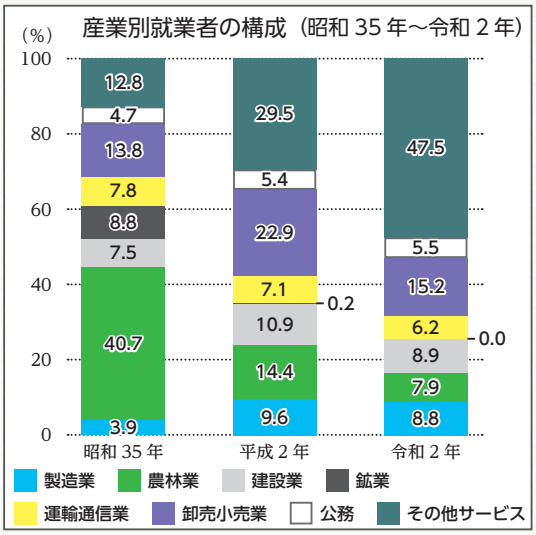
第３回　地域経済を支える産業

今月の数字　製造業就業者 10 パーセントに迫る

相模繊維工業北海道工場
（昭和 45 年６月、２東14）

昭和 26 年 11 月、当時の市長 山本市英（いちえい）がパリで開かれた国際会議出席を機に、ヨーロッパやアメリカを訪れ、国が進めようとしていた石狩川水系総合開発のモデルとなる事業を視察。昭和 32 年に桂沢ダムと発電所が完成し、昭和 40 年代にかけて炭鉱に代わる新たな雇用を生み出すことになりました。

岩見沢、北村、栗沢を合わせた国勢調査の産業別就業者割合は、昭和 35 年に農林業が約 41 パーセント、卸売小売業が約 14 パーセント、炭鉱など鉱業が約９パーセント、鉄道など運輸通信業と建設業がそれぞれ約８パーセントを占めていました。その後、国の指定を受けた工業団地を中心に建設資材、繊維や食品加工などの企業進出が続き、オイルショックの影響を受ける地元に明るい話題をもたらしました。



昭和 50 年代に整備された栗沢工業団地などには、昭和 58 年の北海道縦貫自動車道開通に伴い、自動車部品や建設資材メーカーなども進出し、新たな雇用を生み出しました。その結果、平成２年の製造業就業者は、３地区合わせて４千人を超え、全体の約 10 パーセントに迫るまで増加しました。

近年は、機械器具リースや情報処理など事業所サービスに当たる企業の進出、医療・福祉・介護サービス事業所などが増え、令和２年にはそれらの就業者が全体の約 48 パーセントに拡大した一方、公務を除く他業種は縮小しています。高齢化が進み、医療福祉を含むサービス業が地域の雇用を支えていますが、将来も地域経済が自立し、成長していくためには、農林業や製造業など地域に根ざした企業が地域の中で経済を循環させ、新たな就労機会を創出していくことが必要です。

人の動き（令和６年４月 30 日現在）

●住民基本台帳　人　口	男	34,980	人（前月比 ＋	10）
	女	39,933	人（前月比 －	27）
	総数	74,913	人（前月比 －	17）
	世帯数	40,647	世帯（前月比 ＋	76）

広報クイズ

問題
大雨により河川が氾濫する危険がある場合に、市から避難情報と□□レベルを発令します。
□に当てはまる言葉をお答えください。

プレゼント
正解者の中から抽選で10人に**図書カード500円分**をプレゼント

締め切り ６月 20 日㈭（必着）

応募方法
はがき（送付先左記）、市ホームページのフォーム、ファックス（0126-23-7731）、Eメール（pr@city.iwamizawa.lg.jp）で、◉クイズの答え◉住所◉氏名◉年齢◉電話番号◉広報紙に関するご意見・ご要望を**必ず**記入し、総務部秘書課広報室へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。５月号の正解は就業者でした。

岩見沢市役所
〒068-8686　北海道岩見沢市鳩が丘１丁目１番１号
☎0126-23-4111（代表）　FAX 0126-23-9977
ホームページ
https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp
X（旧 Twitter）　Facebook　Instagram　LINE

発行・編集　岩見沢市総務部秘書課広報室

広報紙はとじておきましょう

UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
この広報紙は道産間伐材配合紙を使用しています。